

- 問1 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早いため。
 2. 平野部が广大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。
 3. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。
 4. 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。
- 問2 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
 2. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
 3. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
 4. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。
- 問3 沖縄の自然環境に関するレポートにおいて、海岸沿いに生息する樹木の特徴として「潮の満ち引きの影響を受ける場所に発達し、島を波の衝撃から守る役割がある」と説明される植物群があります。この植物群が持つ生態系や防災上の特徴として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 常緑広葉樹の集まりであり、天然の防波堤として海岸線を保護している
 2. 落葉広葉樹の集まりであり、季節による海水の温度変化を調節している
 3. 砂漠地帯に自生する植物であり、海岸の砂の移動を防ぐ役割がある
 4. 針葉樹の集まりであり、強い潮風を受けても折れにくい性質を持っている
- 問4 九州地方の各県を比較した統計において、温泉の源泉数は184と比較的少ないものの、小麦の収穫量が51,800トンに達し、全国でも有数の生産量を誇っている県はどこですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 愛知県
 2. 大分県
 3. 沖縄県
 4. 佐賀県
- 問5 日本の諸地域について述べた統計資料において、九州地方に位置し、航空路線の国内線旅客数が約990万人と非常に多く、さらに鉄鋼業の出荷額も高いという特徴を持つ県はどこですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 愛知県
 2. 福岡県
 3. 宮城県
 4. 北海道
- 問6 九州地方を扱った地理の学習において、大分県の特徴をまとめた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 九州北東部に位置し、別府温泉や由布院温泉などの豊富な温泉資源を活用した観光業が盛んである。
 2. 九州地方の南東部に位置し、温暖な気候を利用したピーマンやキュウリの促成栽培が行われている。
 3. 九州地方の北部に位置し、北九州工業地帯を中心とした重化学工業が県の経済を支えている。
 4. 九州地方の中央部に位置し、阿蘇山のカルデラや広大な農業地帯での畑作が盛んである。
- 問7 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
 2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
 3. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。
 4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問8 大分県における1970年から1980年の人口推移は、それまでの横ばいの状態から一転して右肩上がりの増加を示しています。このような人口の伸びが見られた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため
 2. 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。
 3. バブル経済の影響により大都市圏の地価が高騰し、住居を求めた人々が地方へ一斉に避難したため。
 4. 第一次石油危機の影響で大都市の全ての工場が閉鎖され、強制的な帰郷が命じられたため。
- 問9 日本の南西部に位置する沖縄県の行政の中心地であり、県庁所在地となっている都市を選択肢から選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 浜松市
 2. 松本市
 3. 弘前市
 4. 那覇市
- 問10 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 宮崎県
 2. 熊本県
 3. 長崎県
 4. 鹿児島県
- 問11 九州地方の各県の産業的特徴を説明した次の記述のうち、宮崎県に該当するものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. シラス台地が広がる地形を活かして、茶の栽培やサツマイモの生産が全国で最も盛んに行われている。
 2. 都市機能が高度に集積しており、金属製品などの製造業出荷額と宿泊旅行者数の両方で九州最大の規模を誇る。
 3. 大規模な平野部を利用した米作りと、有明海沿岸でののり養殖が産業の中心となっている。
 4. 温暖な気候や広大な土地を活用した畜産業が盛んであり、特にブロイラー（食用鶏）の産出額が全国トップクラスである。
- 問12 九州南部の宮崎県や鹿児島県では、農業産出額の約6割を畜産が占めています。このように、この地域で豚や肉用牛、鶏などの飼育が盛んになった地理的理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。
 2. 温暖な気候を利用して年に2回米を収穫する二期作が衰退し、その跡地をすべて牧草地に転換したため。
 3. 海岸沿いに広がる平坦な埋立地を利用して、海外から輸入した飼料を直接加工する大規模な工場と農場が直結しているため。
 4. シラス台地は栄養分が豊富な土壌であり、家畜の餌となるトウモロコシや小麦の生産が国内で最も盛んに行われたため。
- 問13 九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 壱岐・日本海海流
 2. 壱岐・対馬海流
 3. 対馬・リマン海流
 4. 対馬・対馬海流